

中長期の取組みと2024年度の目標及び2023年度実績

三菱電機グループは、2024年度にサステナビリティに関して特に重要な全社目標を設定しました。これらの達成に向けて、サステナビリティ委員会にて進捗の確認・推進をすることで企業価値向上を図っています。

マテリアリティ	長期目標	中期目標	単年度目標／取組み指標 (KPI) ・実績			範囲
			2024年度目標	2023年度目標	2023年度 主な実績	
持続可能な地球環境の実現	【Scope 1、2、3】 2050年度 バリューチェーン全体での 温室効果ガス排出量 実質ゼロを目指す			【新製品における前モデル比改善率】 1%以上	2.5%	三菱電機 グループ
		【Scope 1、2】 2030年度 実質ゼロを目指す	2025年度 53%以上削減*1	30%以上削減*1	37%削減*1	
		【Scope 3】 2030年度 30%以上削減*2	2025年度 17.5%以上削減*2	—	—	
		「カーボンニュートラル」へ貢献できる製品やサービス、ソリューションの提供			<ul style="list-style-type: none"> Evercomm 社と協業契約を締結、製造業のカーボンニュートラル実現を支援するソリューションを提供 xEV用SiC/Siパワー半導体モジュール新製品「J3シリーズ」サンプル提供開始 「マルチリージョンEMS」を用いた大規模な社内実証を開始 	
サーキュラーエコノミー 実現への貢献	2035年度 廃プラスチック 100%有効利用	2025年度 プラスチック排出物の 有効利用率(国内) 92%以上	プラスチック排出物の 有効利用率(国内) 90%以上	95%	三菱電機 グループ (国内)	
安心・安全・快適な 社会の実現	事業を通じた安心・安全、 インクルージョン、 ウェルビーイングの実現	「安心・安全」へ貢献できる製品やサービス、ソリューションの提供			<ul style="list-style-type: none"> 3次元計測アプリ「Rulerless」が、CES 2024 イノベーション・アワードを受賞 インドネシアにおける新首都移転プロジェクト向け昇降機受注 	三菱電機 グループ
		「インクルージョン」、「ウェルビーイング」へ貢献できる製品やサービス、ソリューションの提供			<ul style="list-style-type: none"> 2024年度 三菱ルームエアコン霧ヶ峰[FZ、FD、Z、ZDシリーズ]発売 Uber Eats、三菱電機、Cartken が AI 活用の自律走行ロボットデリバリーサービスで業務提携 	

*1 Scope1、2 は2013年度を基準年とした削減目標

*2 Scope3は2018年度を基準年とした削減目標

マテリアリティ	長期目標	中期目標	単年度目標/取組み指標 (KPI)・実績			範囲	
			2024年度目標	2023年度目標	2023年度 主な実績		
あらゆる人の尊重	国際規範に基づく人権の取組み定着と責任あるサプライチェーンの実現	2027年度 国際規範に則った人権デュー・ディリジェンス*3実践	特定した人権課題に対する改善施策展開率45%以上	人権インパクト・アセスメントの全事業本部への実施	全事業本部へのヒアリングを通じてバリューチェーンにおける潜在的な人権課題を特定(人権インパクト・アセスメント)	三菱電機グループ	
		2027年度 RBA*4プロセスに基づくサプライチェーンにおける人権への負の影響低減	主要取引先(購入額上位80%)からの三菱電機グループサプライチェーン行動規範への同意取得100%	サプライヤー人権デュー・ディリジェンスのRBAプロセス移行に向けた運営整備	取引先に対し、三菱電機グループのサステナビリティの考え方や人権尊重の取組み、RBAプロセスの取組み等を説明		
	多様・多様な人財が集い、活躍する環境の実現	2025年度 従業員エンゲージメントサーベイの従業員エンゲージメント*5良好回答率70%以上(三菱電機) 60%以上(国内関係会社の一部)	組織風土改革(関連諸施策)の着実な遂行			55%(三菱電機、2023年度下期)	三菱電機グループ(国内)
			計画的な「人への投資」の実施	キャリア自律支援強化	<ul style="list-style-type: none"> コーチング研修(所長級以上84名) 外部講師による1on1研修(管理職約3,000名) 社長による社内拠点でのタウンホールミーティング(延べ130回以上実施) 		三菱電機
			新人事処遇制度の導入	新人事処遇制度の検討	2024年4月から新制度導入		
			2030年度 経営層*6に占める女性・外国人比率30%以上	社外人財の戦略的採用活動推進	2023年度計画(社外公表値)の経験者採用数は達成		三菱電機
	2030年度女性管理職比率12%以上	グローバル・ジョブグレーディングを活用したサクセッションマネジメントによる経営層の多様性推進等	社内における経営幹部候補人財の計画的サクセッション	経営層*6に占める女性・外国人比率約15%(2024年3月末時点)			
		管理職登用プログラムの推進	3.1%(2024年3月末時点)		三菱電機		
		経営幹部候補育成プログラムとの連動等	2023年度管理職候補者を選抜 2023年度経営幹部候補者群を選抜				

*3 人権侵害を是正・防止するためのPDCAサイクルを回すこと

*4 Responsible Business Alliance。グローバルサプライチェーンにおいて社会的責任を推進する企業同盟

*5 毎年実施する「従業員意識サーベイ」の対象5設問に対する良好回答割合の平均値。「当社で働くことの誇り」「貢献意欲」「転職希望」「他者に対する当社への入社推奨」「仕事を通じた達成感」

*6 取締役、執行役、上席執行役員

マテリアリティ	長期目標	中期目標	単年度目標/取組み指標 (KPI)・実績			範囲
			2024年度目標	2023年度目標	2023年度 主な実績	
コーポレート・ガバナンスとコンプライアンスの持続的強化	3つの改革	<ul style="list-style-type: none"> 3つの改革(品質風土改革、組織風土改革、ガバナンス改革)の推進 取締役会による3つの改革のモニタリング及び適切な情報開示 	<ul style="list-style-type: none"> 3つの改革の推進状況をまとめ、半期毎に情報開示 3つの改革モニタリング委員会の継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> 3つの改革(品質風土改革、組織風土改革、ガバナンス改革)の推進 取締役会による3つの改革のモニタリング及び適切な情報開示 	<ul style="list-style-type: none"> 3つの改革の推進状況をまとめ半期毎に情報開示(2023年4月・10月) 3つの改革モニタリング委員会を6回/年実施 	三菱電機グループ
		取締役会の実効性の向上	社外取締役50%超の継続	社外取締役50%超の継続(2024年6月末時点60%)	58.3%(2024年3月末時点) 取締役12名中、社外取締役7名	三菱電機
		株主総会参考書類におけるスキルマトリックスの継続開示	株主総会参考書類におけるスキルマトリックスの継続開示	株主総会参考書類におけるスキルマトリックスの継続開示	開示継続中	三菱電機
	品質不適切行為の再発防止	未然防止の品質体制構築	エンジニアリングプロセス改革及び環境整備推進	エンジニアリングプロセス改革の仕組みづくり	品質風土改革19施策は概ね順調に進捗	三菱電機グループ
	"Always Act with Integrity"の真の理解と浸透	コンプライアンス研修の継続的实施	コンプライアンス研修の継続的实施	コンプライアンス研修の継続的实施	2023年度行動規範eラーニング受講率:100%	三菱電機グループ
			行動規範eラーニングの受講率100%維持	行動規範eラーニングの受講率100%維持	2023年度行動規範eラーニング受講率:100%	三菱電機
			重大な独占禁止法及び贈収賄事案の発生0件	重大な独占禁止法及び贈収賄事案の発生0件	—	0件
	サイバーセキュリティ成熟度の向上	2025年度三菱電機グループ(国内)サイバーセキュリティ成熟度レベル2 ^{*7} の達成	社内で実施したセキュリティ施策を国内関係会社に展開	サイバーセキュリティ成熟度モデルのレベル2以上をグループで達成 ^{*8}	国内関係会社:メールセキュリティ等、17施策中6施策完了	三菱電機グループ
		2028年度三菱電機グループサイバーセキュリティ成熟度レベル2 ^{*7} の達成	アジア・米州・欧州の情報システム環境是正と監視運用体制検討	アジア・米州・欧州の情報システム環境是正と監視運用体制検討	<ul style="list-style-type: none"> 中国:施策展開完了、運用開始 アジア、欧州、米州:運用体制整備及び情報システム環境の是正に着手 	
	サステナビリティを志向する企業風土づくり	従業員によるサステナビリティの理解と実践	2025年度従業員意識サーベイにおける「企業理念・目標に沿った業務の実施」良好回答率75%以上	<ul style="list-style-type: none"> 社内報やイントラネット、教育等を通じたサステナビリティマインドの醸成 従業員意識サーベイにおける「企業理念・目標に沿った業務の実施」良好回答率75%達成 	社内報やイントラネット、教育等を通じたサステナビリティマインドの醸成	従業員意識サーベイにおける「企業理念・目標に沿った業務の実施」良好回答率 72%
社内外のステークホルダーとのコミュニケーションの推進		<ul style="list-style-type: none"> サステナビリティレポート及び統合報告書の発行 有識者ダイアログ及びサステナビリティレポートアンケートの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 統合報告書の公開 サステナビリティ説明会の開催 Web、リアルイベントによる学生、一般ユーザー、従業員向けサステナビリティの取組み紹介 社内向けサステナビリティワークショップの実施 	<ul style="list-style-type: none"> サステナビリティレポート及び統合報告書の発行 有識者ダイアログ及びサステナビリティレポートアンケートの実施 	<ul style="list-style-type: none"> サステナビリティレポート、統合報告書を公開 サステナビリティ説明会を初開催 株主・投資家とのESG面談実施 	三菱電機グループ

*7 米国防総省が発行するサイバーセキュリティ成熟度モデルの認証の枠組み。レベル2は、当社規模の企業に対する業界期待水準

*8 目標年は2028年度